



夢と感動のテーマシティにらさき1

誰もが  
いきいきと  
輝ける  
まちづくり



笑顔輝く子育て環境を実現

子どもを取り巻く環境が変化するなか、市では、地域社会や関係機関、市民団体とも連携しながら、「子どもを安心して生み、育てられる環境づくり」に、精力的に取り組んでいます。妊娠、出産、育児における健診や育児学級やパパ・ママ学級といった教室の開催をはじめ、医師や臨床心理士による個別相談を実施するなど、育児不安を抱えるお母さんのさまざまな不安を受け止める相談事業も幅広く展開し、きめ細やかに対応しています。

平成23年9月には、市民交流センター「ニコリ」内に、子育て支援センターをリニューアルオープンしました。施設内には、県産材を利用した大型遊具やベンチなどを配し、「屋内の公園」をイメージ。木のぬくもりに触れながら伸び伸びと遊ぶことのできるプレイスペースや、ランチコーナー、お昼寝コーナーに加え、専門のスタッフが

常駐する相談室も完備しています。工作や読み聞かせなど、多彩なイベントも開催され、子育て中の親子の友達作りや情報交換の場ともなっています。



子育て支援センター



3歳児健診

# 安心して自ら学び、考える力を養う教育環境を

施設の老朽化やニーズの多様化に対応するため、市立保育園の再編を進めています。平成27年4月には田野、旭、竜岡保育園を再編したすずらん保育園が誕生し、甘利山の間伐材を活用した温かみのある木造園舎で、サービス拡充にも努めています。また、小学3年生までの児童を対象とした病児病後児保育についても、市立病院のバックアップのもと専任の看護師・保育士を配置し、平成23年度より実施しています。

小中学校では、教科学習の充実はもとより、読書、食育、環境活動など幅広い学習指導を行っています。これまでも朝読書などに取り組んできましたが、教育現場を

支えるとともに、子ども達があらゆる機会にあらゆる場所で自主的に読書活動ができるよう「子ども読書活動推進計画」を策定。市立図書館とも連携して、さらに進めていきます。また、食品生産者や地域、保護者と連携しての食育活動や、エコキャップ回収、緑のカーテンといった活動を通じての環境教育も継続的に行っており、大きな成果を挙げています。

さらに、全小中学校へのエアコン設置や、体育館の照明器具などの非構造部材の補強、窓ガラスの飛散防止といった地震対策など、ハード面の充実にも努めています。長期寿命化を目的とした校舎の改築計画も進行しており、順次実施していく予定です。



すずらん保育園イメージ



中学校 登校風景



小学校 電子黒板を使っている授業

## すべての市民が健康で、イキイキと

心身共に健やかに生を全うすることは、誰もが願うことです。市では、がん検診も同じ会場で受診できたり、愛育会による託児サービスを行ったりと、より受けやすい健康診断を実施して受診を推進するとともに、赤ちゃんから高齢者まで、年齢や生活環境、健康状態に応じて参加できるさまざまな健康教室を開催し、市民の健康意識の向上に努めています。また、スポーツ推進委員や食生活改善推進員との連携のもと、生活習慣病予防を目的として開催する「陸上ウォーキング教室」や、各地区において自主的に介護予防のための活動を展開してもらう「いきいき貯筋クラブ」を開

催するなど、シニア健康サポーターを養成し、創意工夫を凝らした複合的な取り組みにより、予防に対する市民の関心も広がっています。

高齢化が進み、認知症が社会問題の一つになるなか、市では、高齢者やその家族にとっても、安全に、安心して暮らせるまちであるためのさまざまな取り組みを進めています。徘徊SOSネットワークもそのひとつ。事前に身体的な特徴などを登録することで素早い対応が可能となり、交通機関などの協力により早期に発見できるシステムです。



福祉の日記念まつり

